

2022.1.13 <計2枚>

報道機関 各位

京都橘大学広報課

認知症者や高齢者の就労的活動と多世代交流による居場所づくり
コミュニティカフェの開催

日時:2022年1月16日(日)10:00~14:00

場所:クリエイティブハウス京都F邸(京都市右京区)

京都橘大学健康科学部作業療法学科・小川敬之教授が、企業や自治体と連携し、認知症の人や地域の高齢者が就労的活動を通じて社会参画できる雇用モデルの創出をめざした実践的研究を始めました。活動拠点として開設した「クリエイティブハウス(通称:京都F邸)」で1月16日(日)に就労体験とコミュニティカフェを開催します。

認知症者や高齢者など多世代の地域住民が集い悩みや情報を共有する場とするとともに、就労活動体験も同時開催します。体験内容は作業療法士が作業工程の検討やそれに合わせたパーツ制作を行い、だれでも簡単にできるように準備された木箱の組み立て作業です。この取り組みは、日常生活に困難を抱えながらも「働く」ことで社会とつながりを持ち、持てる力を最大限発揮しながら、より健康的に生きることを後押しすることを目的としています。

少子・高齢化に伴い、高齢化と関係の強い認知症への取り組みが急務ですが、自治体レベルでその土地、文化、そこに住む人を理解する者たちが集う、企業・医療・福祉・その他関係者によるプラットフォームの構築が課題となっています。本研究では、医療・福祉・企業が一体となって、認知症者や高齢者へ「はたらく」活動を通じた社会参加の仕組みづくりと多世代や異業種が集うコミュニティの創出、それを支援する専門職や企業への研修会などを行います。

<コミュニティカフェの概要>

日時:2022年1月16日(日)10:00~14:00

場所:クリエイティブハウス京都F邸(京都市右京区嵯峨観空寺岡崎町15-8)

内容:①おしごと体験/②おもちゃの修理受付(京都SKYおもちゃ病院)/③振る舞い餅

主催:NPO法人 地域共生開発機構ともつく

備考:当日は、各イベント10名程の参加を想定しています。

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当:多田・花立 TEL.075-574-4112

※イベント当日の連絡は、教員(小川:ogawa-n@tachibana-u.ac.jp)までお願いします

別紙

<参考>

●研究の目的と意義

日本における少子・高齢化は加速的に進み、早急な取り組みが日本の将来を左右する課題であり、高齢化と関係の強い認知症への取り組みは最重要課題の一つともいえます。

認知症対策としては国が2019年に「認知症施策推進大綱」を制定し、そのテーマは「予防」と「共生」であり、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる社会をめざしています。近年国内での実践は進み、主たる目的を「居場所づくり」「情報共有や学び」「家族と本人のピアサポート」とするなど、そのあり方も多様化してきています。

本研究では、住民、医療・福祉・企業が一体となって、認知症者や高齢者へ「はたらく」活動を通じた社会参加の仕組みづくりと多世代や異業種が集うコミュニティの創出、それを支援する専門職や企業への研修会を開催し、誰もが持てる力を最大限発揮しながら、より健康的に生きることを後押しすることをめざします。

●前回2021年11月28日の様子(おもちゃ病院の取り組み、茶話会の場面)



<実施会場の地図>



ココです



以上